

棚田に水を湛えて芒種の丹後から

本年度も大ブナを探し求める探検ツアーが4月29日(土)に催されました。今回は、宝塚から生駒さん父子が初参加してくれました。以下は、初めてイベントに参加しての感想です。

春の里山探検ハイキングに参加して

生駒誠司

2006年から里山ネットワーク世屋に入会させて頂き、初めての親子参加でしたので、少々緊張気味に集合場所をスタート致しました。

最初は、林道を歩きながら自然に触れてのんびりといったイメージでしたが、途中から道無き道を散策というよりまさに登山という感じで、ガイド役の梅本さんに付いていくことで精一杯でした。山歩きの原則である尾根伝いをひたすら歩き続け、気が付いたら山頂へ到着していたという有様で、廻りを見る余裕すらありませんでした。ただ、今回はGPS(全地球測位システム)機を持参されての探検ですので、心強い限り

でしたが、新しいブナの木は発見できなくて残念でした。昨年発見された3m以上の幹の太さであったブナは、さらに成長してより逞しくなっているようでした。

わずか6時間の里山ハイキングでしたが、世屋の生態系に少しでも触れることができ、森林総研の奥さん達の地道な学術的調査活動が里山の森林保全を可能にすることを感じ、大変有意義な一日を親子と過ごすことができました。有難うございました。



山に登って・・・

生駒誠吾

僕は今日初めて山に登りました。登る前は「きっと楽に登れる」と思っていたけれども登ってみるとものすごくたいへんでしんどかった。でもお弁当がおいしく感じることができました。それから僕は何回も、何回も転んでとうとうくつ下に穴があいてしまいました。だから足はキズだらけで痛かった。山登りは本当に本当につらかったけれどすごく楽しかったです。来年の山登りでは、もっと大きなブナの木を見つけられるようになりたいです。だからそれまで体をきたえます。次の田植えの時はできたら友達を連れていきます。案内ありがとうございました。



でした。とにかく、そこで食べたオニギリとメンバーの方から頂戴した味噌汁は最高でした。午後からは、少しは廻りを見る余裕ができ、幾らかの植物をデジカメに収めることはできま

5月28日(日)には、田植えのイベントが行われました。上世屋で棚田の保全について研究をしているメンバーの大岸万里子さんからの報告です。

田植え作業に参加して

京都大学大学院 大岸万里子

予報が怪しく、天候が心配されましたが、すっかりいいお天気に恵まれました。21名の参加者は、揃って田植え用の長靴を履き、元気に田に向かいました。今回は、紙マルチを敷きながら指で穴を開け、苗を植えてゆくという方法で田植えをしました。この方法だと、雑草の繁殖を抑えられるメリットがあります。シートをうまく敷き詰められるようにあらかじめ田の形状を掴んでから計画的に敷き始めることが重要です。シートの両側から10cmほど空けて一列に4つの穴を開け、2~3本の苗をとり、第一関節より下まで埋まる程度に植えてゆきます。自分で踏んだ穴が影響しないよう、苗と苗の間を歩くように気をつけながら後ろ向きで進んでゆきます。また、風で飛ばないようにシートを押さえて土と密着させることも大切です。

説明を受け、いざ開始。シートを田の形状に合わせて微妙にカーブさせながら敷いてゆくのが非常に難しかったです。端のシートに沿って次のシートも敷いてゆくの、みなチームワークが求められます。慣れてくると、ペースも上がり、夢中でひたすら植え、気



が付いたら田の端まで来ていました。カーブしている田は、その後にシートを隙間の形状に合わせて切り取り、うまく埋めてゆく丁寧な作業がありました。おいしく豪華なお弁当を頂き、パワーも充電されたからか予想以上に作業が順調に進み、予定していた4枚の田に3枚加えて植えてゆきました。

終わってみて初めて気づいた腰の痛さ。かつてはこの作業を数日間続けていたわけで、手植えの大変さを思いました。こうした努力があって今までこの上世屋の棚田が維持されてきたことを痛感しました。

田んぼの土は、ぬるくて軟らかく、手足を付けているとまるで地球にさわっているような感覚になりました。作業をしながら話も弾み、のどかなカエルや鳥の

鳴き声、水の音を聞き、すっかり心もリフレッシュされました。もっともっと多くの人にこうした作業の魅力を体験してもらいつつ、場の提供などを通じて、今後の棚田の維持につなげてゆけるような形を考えてゆきたいと思います。



★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★
梅本さんと小林さんを中心に、樺丹の改修が進んで
おります。だんだんと素敵な空間に変身しています。み
なさん、是非見に来てくださいね！！
★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★



♪♪♪ お知らせ ♪♪♪

#6月10日(土)に上世屋樺丹にて総会を開催します。総会に参加できない方は、お手数ですが委任状に記入していただき、6月8日(木)までにFAXあるいは郵送にて事務局(FAX:0772-25-1414, 〒626-0052 宮津市小田宿野373 飯尾理事長宛)にお送りください。

●タイムスケジュール

10時~12時 総会

審議事項:平成17年度会計報告および活動報告,平成18年度予算案および活動案など

13時~17時 樺丹の改修作業

★場所:樺丹(上世屋バス停のそば)

★お弁当が必要な方は、6月8日(木)までに事務局(飯尾醸造内)の秋山さん(電話0772-25-0015, FAX0772-25-1414)まで申し込みをお願いします。当日は、動きやすい服装でください。

♪7月2日(日)に「草刈りワークショップ&里山案内人講座」を行います。田んぼや集落の中で、人手がとても必要とされている草刈り作業をします。また、京都大学の柴田昌三先生をむかえ、里山で管理がなされずに増加している「竹」の現状や、必要な管理対策など、現地を歩きながらお話していただきます。農作業ができ、歩きやすい支度をしてください。

●集合時間・場所:午前10時 樺丹(上世屋バス停のそば)

●問い合わせ・申し込み先:事務局(飯尾醸造内)の秋山さん(電話0772-25-0015, FAX0772-25-1414, e-mail:kura@iio-jozo.co.jp)までお願いします。

♪8月5日(土)に「世屋川の探検~龍ヶ壺をめざして~」を行います。地元の人も踏み入れたことのないという川を、植生や地質、魚を見ながら「探検」して歩きます。お昼には、川原でバーベキューを行う予定です。

●集合時間・場所:午前10時 下世屋地区公民館前

●問い合わせ・申し込み先:梅本さん(電話&FAX0772-27-0091)

★参加者には、後ほど詳細をお知らせします。必ず事前にお申し込みをお願いします。

!!!お願い!!!
今年度の会費の納入がまだの方は、至急振込みをしてくださいますよう、
よろしくお願い致します。

.....

委任状

2006年6月10日に行われるNPO法人里山ネットワーク世屋の総会の議事につきましては、
_____氏に委任いたします。

年 月 日

氏名_____印

.....

(参考) 総会の成立の条件；

- ①正会員をもって構成する。②通常総会は、毎事業年度終了後3ヶ月以内に開催する。③総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。④総会は、正会員総数の3分の1以上の出席がなければ開催することができない。⑤総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数を持って決し、可否同数のときは、議長が決する。